

川崎の 社会福祉

川崎市
社会福祉協議会



2021.04
April

春

No.592



食糧支援かわさき+学生エール

新型コロナの影響で収入が減少するなど、生活に困っている学生に向けた支援活動として、市民の皆さんをはじめ、市内企業・社会福祉法人（施設）・地区社協など多くの方々から約6,000品の食糧をご提供いただきました。支援品を受取りに来た若い学生たちの姿に、1日も早い感染症流行の収束が待たれます。

(令和2年12月19日実施)



川崎市社会福祉協議会
キャラクター ななふく

2021年4月号の記事

- 福祉についてまなびませんか P2~3
- ボランティアのカタチ P4~5
- 赤い羽根共同募金活動のご報告 P7
- おすすめ福祉の本 P8



動画 公開中

食糧寄付や会場運営など、支援活動へご協力いただいた皆さまからの応援動画を公開中です。



市社協による 研修・講座を一部ご紹介 福祉についてまなびませんか？

初めて介護の仕事にチャレンジする方から福祉職員のキャリアアップ、一般市民向けの介護・健康講座まで、福祉に関するさまざまな研修や講座を多数開催しています。こちらに掲載しているのはほんの一部。この春、何か新しいことを始めたいと思っている人も必見です！



介護の

資格取得を目指す人・ キャリアアップを目指す人へ

初めて介護の仕事にチャレンジする方から、資格試験対策講座、各種更新研修、キャリアアップ研修まで、福祉の仕事に関する学びは社協へお任せ！

研修・講座の一例

- 介護職員初任者・実務者研修
- 認知症介護関係研修
- 相談支援従事者研修
- 介護福祉士国家試験
直前対策講座



研修場所はコチラ！

川崎市複合福祉センターふくふく

今年4月OPENの「ふくふく」は、医療・介護・福祉・予防・住まい等を一体的に提供する複合施設です。
この「ふくふく」2階にある総合研修センターは、実際の福祉の現場をフィールドとして活用することで、多様化する高齢者、障害者等の介護・リハビリテーションを実践的に学べる場となっています。



福祉の スペシャリストを目指して

福祉施設で働く職員のための研修です。利用者に対してより親身に、寄り添った支援が出来る人材育成を目指し、様々な内容を企画しています。施設長など管理職向けのマネジメント研修も。

研修・講座の一例

介護スキルの向上に

「移動・移乗介助法」「ストマケア」

専門性を高めるために

「医療・薬学基礎知識」「食事と栄養」

職場での対人関係に

「職員を育てるOJT技術研修」

「チームリーダー、管理職のためのセルフケア研修」



市民向け研修/ 地域・福祉・健康を学ぼう

誰でも気軽に参加できる市民向け研修です。

研修の一例

地ケア推進研修

互いに関心を持ち合い、多様性を知り、理解するために
(テーマ：認知症・発達障害など)

地域課題研修

地域の課題に気づく意識、つながりを持つために
(テーマ：自殺予防・虐待など)

地域活動促進研修

地域活動の活性化と拡大のために
(テーマ：レク・広報手法など)

介護いきいきフェア

昨年度中止となった介護いきいきフェアに代わり、介護普及啓発のパンフレット配布、動画配信中です。今年度は介護と福祉にかかわる類似イベントと整理統合して開催します。

動画 寸劇で学ぶ認知症介護のコツ！

<http://youtu.be/9wNmXAeWl0w>



開設しました！

福祉人材バンクの Youtubeチャンネル



福祉施設ってどんなところ？

施設見学 バスツアー

福祉施設ってどんな所？
自分に合った職場を探したい。
そんな人のために、自宅にいながら施設見学できる動画を配信中！



福祉職の方、必見！ 令和時代に思う 福祉人材の確保

社会変化が激しく、多様化する現代。働き方や、世代間ギャップなどについて、今、思うことを福祉分野の第一線で活躍するお三方が座談会形式で話し合います。



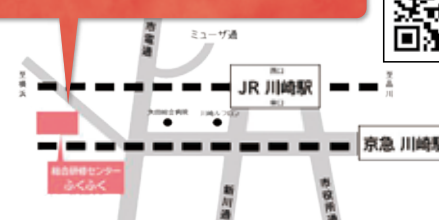
令和3年度の各講座の開催詳細については、HPをご覧ください。下記へお問合せください。

総合研修センター

ADDRESS 川崎区日進町5-1
川崎市複合福祉センターふくふく2階
TEL 223-6509
E-mail kensyu-c@csw-kawasaki.or.jp
URL <http://www.kourei-c.jp/>



JR川崎駅から徒歩約10分！



川崎市福祉人材バンク

ADDRESS 中原区上小田中6-22-5
川崎市複合福祉センター5階
TEL 739-8726
E-mail jinzai@csw-kawasaki.or.jp
URL <https://www.csw-kawasaki.or.jp/jinzai/>

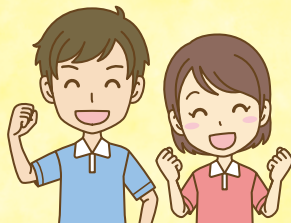


つながり、つづける。

ボランティアのカタチ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのボランティア・市民活動団体が休止したり、活動頻度を減らしたり、団体自体を解散してしまうといった状況になっています。

しかし、コロナ禍で社会が変容し、新たな課題やニーズが生まれる中、困りごとへの支援活動や人と人とのつながりはより一層求められていると言えるでしょう。本記事では「今だからできることを」と、試行錯誤しながら活動の継続を行っているおふたりからお話を伺いました。



変わらず、
そばに寄り添うこと

「傾聴たかつ」代表 中里良三さん



「傾聴たかつ」は、高齢者施設を中心に傾聴活動を行う団体です。約30名のメンバーが所属しており、それぞれが認知症や精神障害を患う人々の話に耳を傾け、人生を心穏やかに過ごすためのお手伝いをしてきました。しかし、現在は感染症防止対策として多くの施設で面会制限が実施され、活動はほぼ休止しています。

それでも、話を聞いてほしいという声は少ないながらも絶えることなく、中里さんは依頼者のもとへ足を運びます。当初、感染リスクを考えると訪問をためらう気持ちもあったそうですが、「世の中がどのように変わっても、誰かと話したいという相手の気持ちに応えたいと思いました。この活動は私の使命のようにも感じています。」と話してくださいました。

昨年度、高津区社協では中里さんを講師に招き、傾聴講座を実施。学生からシニア世代まで多くの地域住民が参加しました。相手を受け入れ、共感する傾聴の姿勢は、人々の気持ちに不安定になりがちな今、

強く求められていることかもしれません。

「傾聴たかつ」の活動へのお問合せ
高津区社会福祉協議会 TEL 812-5500



「皆さん、本当に楽しそうに幼少時の思い出をお話しされます。」
童謡を収録した歌本やお手玉を持参すると、大変喜ばれるそうです。

昔話の動画配信で
みんなを笑顔に

「おと絵がたり」代表 加藤妙子さん



「おと絵がたり」は、手作りの絵巻に歌や音楽を組み合わせてながら、昔話の朗読をするグループです。元々は、小学校での読み聞かせ活動の一環としてスタートし、加藤さんが作画、他メンバーは楽器演奏や語りを担当しています。

平成15年の発足以来、地域の子ども達へ数多くのおはなしを届けてきましたが、昨年3月以降は全公演が中止に。そして、代わりに始めたのが絵巻の動画配信です。「公演が出来ないのは残念ですが、配信ならこれまで訪問出来なかった場所にも絵巻を届けることができます。おとなも子どもも憂うつになることが多い今こそ、楽しいお話を見て聞いて、少しでもハッピーになってもらえたら嬉しいですね。」

動画制作の知識は全く無かったという加藤さんですが、コロナ禍で自分たちが出来る最大の地域貢献だと信じてチャレンジしたと語ります。「今後は英語字幕を入れた動画も増やしていきたい。日本の昔話を外

国の方にも楽しんでほしいです。」形は変わっても、多くの人へ明るい笑顔を届け続けたい。そんな強い思いが感じられるお話でした。

【おと絵がたり HP】
<http://www.cl.bb4u.ne.jp/~otoe-net/>

【YouTube チャンネル】
<https://www.youtube.com/user/otoestory>



YouTube で現在約30本の絵巻が無料で楽しめます

神奈川県民話「ねこの踊り場」からグリム童話「ブレーメンの音楽隊」まで、幅広いお話を題材に絵巻を制作。暖かい色使いと、どこか懐かしい絵柄に心癒されます。



コロナ以前は市内全ての児童施設や市民館を中心に、年間約30回もの上演活動を行っていました。

また、いつか上演でお会い
できますように！
新作準備中です。



市内のボランティア情報が満載！

ボラ☆ナビ2021

「ボランティア・市民活動をしたい」という方に向けて、市内のボランティア情報をまとめた一冊です。活動の受入れをしている施設・団体等の情報が掲載されています。



◀ボラ☆ナビ2021は市社協、かわさき市民活動センターで配布中。
こちらからダウンロードもしていただけます。

発行しました！

Share Smile かわさき Withコロナ 地域福祉活動ヒント集 ～まずはこれから！感染防止に向けた9つのルール～

感染症の影響により活動休止・縮小中の団体が、活動を再開する際に留意すべきポイントなどをまとめたガイドライン。新しいカタチでの活動を考えるヒントとなれば幸いです。



「地域活動をしてみたい」 「ボランティアを依頼できないかな」

市内のボランティア活動全般に関する
ご相談・お問合せ

ボランティア活動振興センター
TEL 739-8718
URL <http://k-fukumimi.com/>



第5期地域福祉活動推進計画がスタートします

本会では、会員、市民関係機関、団体等の協力により、この度「第5期地域福祉活動推進計画」を策定しました。この計画は、地域での支えあい活動の一層の充実、分野・領域を横断したネットワークの強化により川崎市の地域福祉活動を推進する「社会福祉協議会の活動・行動計画」としています。

また、川崎市が策定する「地域福祉計画」と相互に連携を図りながら検討しており、行政とより強いパートナーシップを構築し、川崎市の地域福祉をしっかりと推進していくこととしています。川崎市が重要課題として位置付けている地域包括ケアシステムの一層の推進に向けて本計画の取組を着実に進めてまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



地域のための募金活動

第5期地域福祉活動推進計画 体系図

(計画期間 令和3年4月1日～令和5年3月31日)

みんなで支え合い ともに安心して その人らしく暮らせる 川崎のまちづくり
目指せ地域包括ケアシステムの構築・推進！

基本目標Ⅰ

お互いを認め合う福祉の心を育てよう

住民が安心して暮らしていけるよう、住民同士がつながり、安心して暮らせる地域づくりへの理解、誰も排除しない、やさしさと思いやりのある福祉の心を育てます。



基本目標Ⅱ

住民主体による新たな支え合いの地域づくりを目指そう

一人ひとりがその人らしく住み慣れた地域で暮らすため、自らの健康づくり、地域活動に参加し、地域の課題を自分のこととらえ、ともに解決に向けて取り組むことができる地域づくりを目指します。



基本目標Ⅲ

住民の暮らしを支える協働・連携のネットワークをつくろう

既存の制度やサービスでは解決できない、今日的な複雑・多様化する課題の解決に向け、保健・医療・福祉の専門機関、福祉の分野を超えた企業など多様な団体との連携に努め、ネットワークの強化に取り組みます。

また、福祉を支える地域の担い手、専門職の人材づくりや支援を通じ、地域福祉の推進を目指します。

基本的取組1

つながりのある地域づくりに向けた、共生意識の醸成

- ①子どもから大人まで幅広い世代への福祉教育の推進
- ②寄附文化の醸成と共同募金運動の活性化

基本的取組2

その人らしく暮らせる地域づくりに向けた多様な活動や参加への支援

- ③住民の自発的な取組や住民相互の活動推進
- ④住民活動促進のための啓発、情報提供

基本的取組3

個別地域ニーズや課題の発掘と解決に向けた取組

- ⑤個別ニーズの把握から地域課題の抽出
- ⑥会員等のネットワークを活かした地域ニーズの把握
- ⑦個別・地域課題の解決に向けた取組

基本的取組4

地域福祉に関わる多種多様な団体・組織との連携強化

- ⑧多種多様な団体との連携・協働と社会福祉法人による公益的な取組への支援
- ⑨災害に強い地域づくりの推進

基本的取組5

地域福祉を支える人材づくり

- ⑩身近な地域で支え合う福祉人材の育成
- ⑪福祉を支える仕事の魅力発信
- ⑫福祉を支える専門職の育成・定着支援

令和2年度

赤い羽根共同募金活動のご報告

令和2年度も、共同募金運動へのあたたかいご支援・ご協力をありがとうございました。市民の皆様をはじめ、町内会・自治会、企業、学校等各種団体のご協力により、多くのご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

募金総額

(令和3年2月28日現在)

129,032,054円

一般募金 77,765,057円

年末たすけあい募金 51,266,997円

募金の使い道

次のような活動に役立てられています。



子ども達の未来のために



児童養護施設へ文具・玩具等の贈呈

障害者の生活をより便利に



福祉車両の提供

高齢者の生きがいづくり



敬老祝品の贈呈

赤い羽根データベース「はねっと」

共同募金の使いみちは市町村ごとにデータベース化し、公開されています。

はねっと



協賛会員・賛助会員募集中

川崎市社会福祉協議会の活動にご賛同いただける、個人・法人・団体の皆様を募集しています。いただいた会費は、地域福祉を支えるさまざまな活動資金として使われます。

年会費



賛助会員(個人)

1口1,000円



協賛会員(法人・団体)

5,000円以上

詳しくはTEL:739-8711(企画課)までお問い合わせください。

5月は赤十字運動強化月間です！

日本赤十字社は、人々の命と健康を守るために国内外の災害救護活動、医療事業、血液事業、社会福祉事業など幅広い活動を展開しています。

赤十字活動は皆さまから寄せられるご寄付によって支えられています。一人でも多くの人を救うため、ご支援とご協力をお願いいたします。



令和2年7月豪雨災害における日本赤十字の活動

お問合せ

日本赤十字川崎市地区本部

事務局：川崎市健康福祉局 地域包括ケア推進室 援護担当
TEL：044-200-2628／FAX：044-200-3926

寄付御礼

たくさんのご寄付を
ありがとうございます

(令和2年12月2日～令和3年3月1日)(順不同)



貴機関をいただいた寄付品を感謝しています。

川崎市社会福祉協議会の
地域福祉活動へのご寄付

Share Smileかわさき事業
への寄付

●一般社団法人 川崎市弘済会 様

●荒木 乳根子 様



食糧支援かわさき事業へのご寄付

- 社会福祉法人 厚生館福祉会 様
- 宮前空翠保育園 様
- 特別養護老人ホーム 新緑の郷 様
- 社会福祉法人 徳心会 様

他にも多くの方から食品やマスク等の衛生用品をご寄付いただきました。
心より御礼申し上げます。



おすすめ♪ 福祉の本

健康で文化的な最低限度の生活 (1)～(9)

●著者：柏木ハルコ ●発行：小学館（2014年～2020年発行）

日本国憲法第25条第1項「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という条文の一部がタイトルになった、「生活保護」を題材とする漫画。2018年にはテレビドラマ化されたことで話題になりました。

新卒公務員のちょっと頼りない主人公が、配属された福祉事務所でケースワーカー(以下、CW)として悪戦苦闘しながら日々成長していく姿を通して、生活保護制度やCWの仕事内容を具体的に描いています。

失業、借金、DV離婚、母子世帯、虐待のトラウマ、アルコール依存症…

主人公は様々な問題を抱える人々と真摯に向き合い、一人ひとりの事情と生活を見つめていきます。また、ニュースでも度々取り上げられる不正受給問題や貧困ビジネスの実態についても描かれており、自己責任論で終わらせてはいけない社会問題があるということを考えさせられます。

生活保護を受けるに至るまでの経緯は様々です。病気や事故、家族の介護、精神疾患などによって働けなくなり、今までの生活が一変するという事は、決して他人事ではありません。自分や家族の生活を守るためには、様々な制度の知識や相談先の情報を持つておくことも大切です。

気軽に読める漫画というツールを通して、さまざまな社会課題に触れ、学んでみませんか？情報バンクでは、福祉に関する様々な図書・DVDを取り揃えています。

エピソードが6冊で
展開しています



他にもあります 福祉系マンガ！

新・ちいさい人 児童福祉相談所物語 (1)～(8)

矢野龍治/小学館

児童虐待の歴史や子どもの貧困問題に迫る児童相談所の物語

リエゾン こどものこころ診療室 (1)～(2)

ヨンチャン・竹村真作/講談社

児童精神科医が児童虐待に悩む親子と向き合う医療現場

こころのナース夜野さん (1)～(2)

水谷隼/小学館

心の痛みと向き合う、精神科ナースの物語

蔵書検索は「ふくみみ」から！



地域福祉情報バンクへのお問合せ

Tel.044-739-8720 E-mail:jyoho@csw-kawasaki.or.jp

編集・発行

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

住 所：川崎市中原区上小田中6-22-5 TEL：044-739-8710(代) FAX：044-739-8737
E-mail：info@csw-kawasaki.or.jp HP：http://www.csw-kawasaki.or.jp

広報紙「川崎の社会福祉」に掲載する広告を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

発 行：年4回（4・7・10・1月1日）

年間購読を希望される方は、84円切手
4枚をお送り下さい。